

地区名 新津東部地区

今年度の取り組み	・新津東部地区福祉懇談会（5/16、1/23） ・草水町町内会（11/23 草水町防災訓練、1/12 見守り活動についての講座） ・歳末見守り事業（10/19 全体説明会、12/21～28 実施） →8 自治会町内会（北上、滝谷本町、柄目木、飯柳、新町、草水町、金沢町一丁目、金沢町 2.3 丁目） ・滝谷町町内会ゴミ出し支援（11/20、12/4、1/22 検討会、12/22 代議員説明会） ・飯柳自治会ゴミ出し相談（11/6） ・緊急情報キットの周知 ・常任委員・福祉委員合同研修会（2/15）
課題	・地域の役員が歳末の見守り活動について知らず、周知が不足していると感じた。 ・今年度の歳末見守り事業は、友愛訪問との兼ね合いや持参物品、説明の方法など、検討する必要がある。 ・見守りなどの活動は隣組が中心となるが、隣組長の役割が増えている。活動できない人もいるので、役割を検討していく必要がある。 ・草水町では、見守りは民生委員中心ではあるが、民生委員だけでは難しいので、町内会も関わっていく必要がある。 ・個人情報の課題があるため、見守りの押し付けは避ける。 ・除雪に困っている世帯がある。自治会で話し合っていると良い。 ・ゴミ出し支援は制度等、あるものを活用してほしいが、利用へのハードルが高く感じる。
評価	・歳末見守り事業の対象者からは大変喜ばれていた。活動に取り組むことで、コミュニティの必要性を更に感じる事ができた。 ・地域への周知があったからこそ、自治会が取り組むきっかけとなった。 ・見守り活動を足掛かりとして、地域のちょっとしたことでつながる機会が大切になる。 ・初めて見守りに参加するボランティアがおり、地域の活動を知る機会とすることができた。 ・緊急情報キットを年齢関係なく届けることができた。情報更新にも取り組みたい。 ・家族票に緊急連絡先を入れたが、アパートも含めて記入してくれる人が多い。 ・ふれあい福祉サービスのゴミ出し支援で活動している人がおり、町内で活動者が増えるようなしくみを考えたい。
活動の様子	歳末見守り事業  滝谷町ゴミ出し支援  草水町  防災訓練  見守り講座
次年度へ向けて	・支え合いは地道に続けることで広がりと思われ、歳末見守り事業は継続して取り組んでいきたい。持参物等の取り組み方については検討していく。 ・孤独・孤立の課題に向けて、見守り活動については全面的に考えていく。 ・北上でゴミ出しの個人ボラの周知を検討する。 ・飯柳で生活支援について検討する。 ・家族票を活用しながら、組長を中心に、災害時の支え合いについて検討していく。

[参加者] 新津東部コミ協：石澤会長 新津東部地区社協：古川会長、中野副会長、和泉会計

新津東部地区民児協：小林会長、木津副会長、馬場副会長 包括にいつ日宝町：吉川社会福祉士

秋葉区社協：横山事務局長補佐、小林